

平成 24 年度 長浜市定住自立圏共生ビジョン懇談会要点録

2013/03/21

- 日 時 平成 25 年 3 月 21 日（木）午後 4 時 40 分～5 時 50 分
- 場 所 長浜市役所 別館 2 階 第 2 委員会室
- 出席者 （委 員）大橋委員、齊藤委員、一居委員、將亦委員、桐山委員、川越委員
（事務局）田中部長、松居課長、米田副参事、菅谷
- 内 容 以下のとおり

- 1. 開会
 - 2. 委員委嘱
 - 3. 委員紹介
- 省 略

4. 正副会長選出

- ・会長に大橋松行委員が、副会長に桐山輝雄委員が互選により選出された。

5. 議事

(1) 審議事項：会議の公開等について

- ・当該会議の公開等については、附属機関等の会議の公開等に関する要綱第 3 条の規定に基づき審議した結果、公開とすることとした。

(2) 協議事項：

- ・定住自立圏構想及びこれまでの市の取組経過について
- ・長浜市定住自立圏共生ビジョンの変更について

事務局説明（省 略）

【意見及び質疑等】

- | | |
|-------|---|
| 川越委員 | ・資料 5 の変更について、5 カ年計画として事業内容や予算が掲載されているが、ハード整備完了後の掲載内容や、ソフト事業で未定となっている項目は未定のままなのか。 |
| 事 務 局 | ・事業の方向性として見通しがついている事業については、平成 26 年度以降の予算を掲載している。未定となっている事業については、ビジョン期間内にハード整備が終了した後の事業展開が検討中であつたり、平成 25 年度以降に策定される計画との整合性を図る必要があることなどから、予算としては 0 ではないが、数値を掲載できる熟度には達していないため未定としている。 |

川越委員	・ 観音文化振興についても平成 26 年度以降未定と記載されているが。
事 務 局	・ 現在市の重点施策として進めており、今後の展開によっては事業規模の拡大の余地があることから未定としている。
桐山副会長	・ 新規案件について空き家の実態調査があるが、単なる実態調査や、空き家の利活用を検討するだけでなく、空き家に住んでもらって、そこに住む人がいかに市で働いていただくか、もしくは事業を立ち上げるのかという雇用の側面を視野に入れて定住施策を検討願いたい。
事 務 局	・ 共生ビジョンは国の制度に準じて策定しており、その中で今のご意見を反映するとすれば、産業振興等でビジョンに盛り込むことは可能と考える。 ・ 空き家の実態調査は今年度初めて取り組む事業であり、いただいた意見については調査を進めながら利活用方策や関係部局とも協議のうえ、施策を検討する。
將亦委員	・ 一覧に上がっている事業には、全て国庫補助の対象でなければならないのか。
事 務 局	・ そうではなく、市単独事業でも圏域を形成のための事業であれば掲載している。
將亦委員	・ 空き家対策について、若い人や中年の子持ちの労働者を呼び込んで長浜で生活ができるかどうかというのが、定住の根幹だと考えるが、農業やるにも獣害等でなかなか農作物ができない、生活したいけど働く場所がない等の理由で住みたくても住めないのが現状だと認識している。圏域形成のために生活基盤を充実させていくのが重要と感じる。 ・ 産業振興についても具体的事業はビジョンに盛り込まれているが、これから住もうとする人が空き家を活用して、どのように長浜で暮らすのか。そのビジョンも提示できると望ましい。
川越委員	・ 定住促進については、上記の意見に加え、地域に根付く祭りなどを通じて、地域の機運を高めることも必要と感じるので、地域の魅力もにじみ出ると良い。
大橋会長	・ 定住自立圏構想は中期的計画とリンクさせて事業展開することは可能なのか。

- | | |
|-------|--|
| 事 務 局 | <ul style="list-style-type: none">・可能である。中期的計画に盛り込む施策の中で共生ビジョンとして重点的に取り組む事業を国の指導のもと展開することができるので積極的に反映させていきたい。・先ほど観音文化について意見があったが、都市部では一定の評価をいただいているが、地元ではその文化が関係する方々だけでしか浸透していない。このような気づきの役割を担う取組も定住促進の要素として重要であると認識している。 |
| 齊藤委員 | <ul style="list-style-type: none">・バイオ大学は開学して 10 年が経過するが、学生や教職員が長浜に住んでいるかといえば、必ずしもそうではなく、滋賀県南部や京阪神から通勤する人も少なくない。・歴史的な魅力も人を引き付けることは可能かもしれないが、音楽会が開催できる等の人が集まる施設の充実も必要だと感じる。 |
| 事 務 局 | <ul style="list-style-type: none">・確かに、文化施設も必要と感じるが、教育環境や子育て施設の質が高いところに人が集まりやすいことも重要な要素であると認識している。 |
| 一居委員 | <ul style="list-style-type: none">・路線バスが自宅近くを通過するが、利用客がほとんどいない。誰も乗っていない時もちろほら見られる。経営が苦しく、本数を増やすことが難しいと思うが、公共の側面から住民が利用しやすい時間を調査するなどして、住民が乗らない時間に走らせるのではなく、鉄道との連絡や通勤・通学を考慮したダイヤを組むなど一考の余地があると考える。 |
| 事 務 局 | <ul style="list-style-type: none">・今回頂戴した意見については、平成 25 年度以降の事業に少しでも反映できるように関係各課と情報を共有し、積極的に取り組みを進めていく。・共生ビジョンについては、翌年度以降も事業追加等見直しを図っていくので引き続き協力をお願いします。 |

(了)

7. 閉会